

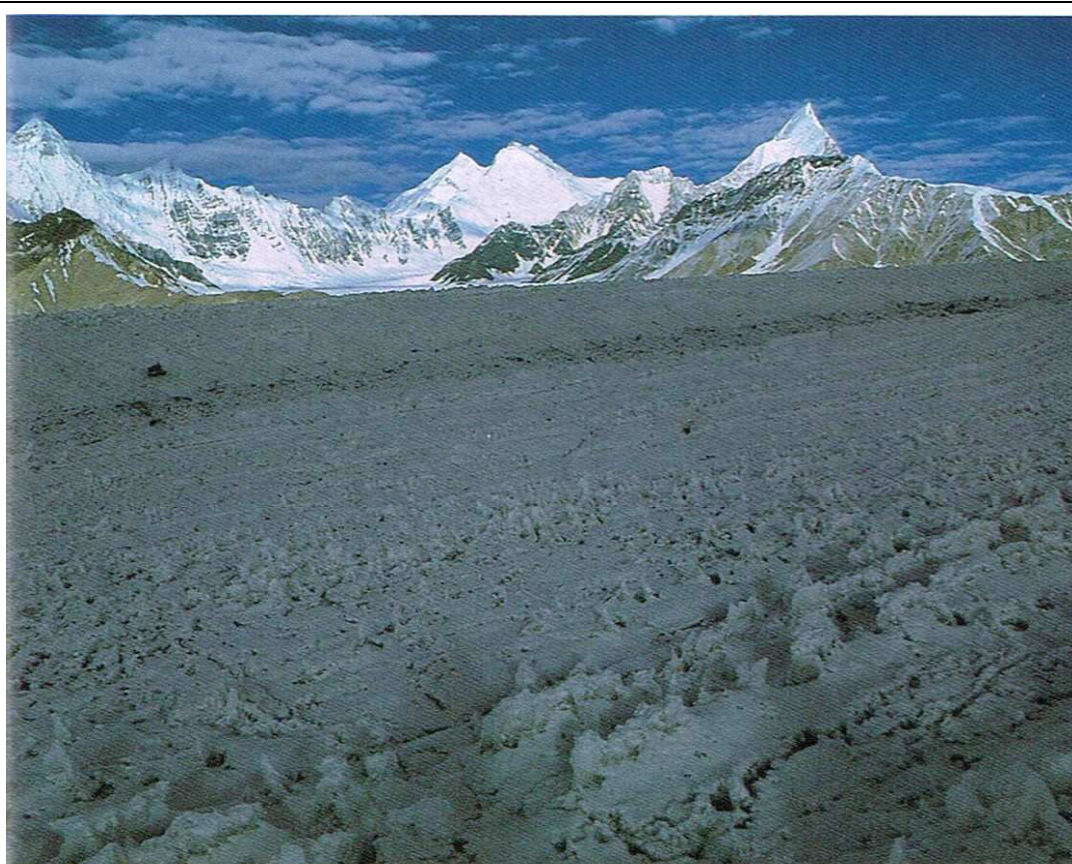
シアチェン氷河から見るシェルピカンリ

山座同定 2017/8/25 Tim Inoue

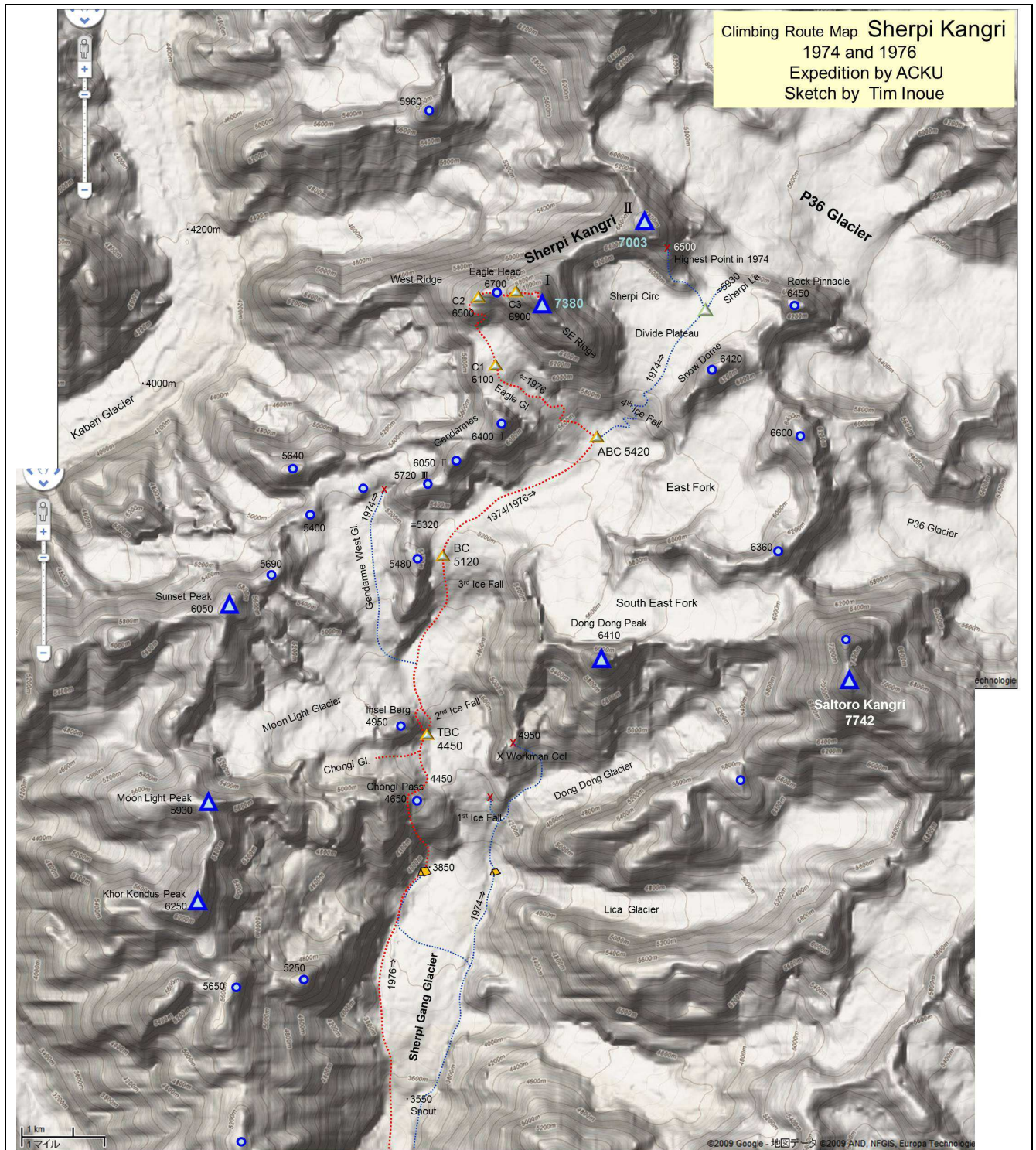
登山家でプロ写真家の水越武氏の「最後の辺境」（中公新書）の写真について説明に疑問を持ったので分析した。Google earth Google Map その他の写真などから撮影場所と写っている山々を明確に同定できた。結論として写真説明にある、シェルピも K7 もシアチェン氷河の撮影地点からは見ることはできません。撮影地点は Siachen Glacier の P36 氷河の一つ上流に右岸から合流する枝氷河の合流地点と判明した。ここからはこの枝氷河と P36 氷河を分かつ尾根が視界を遮っており、Sherpi Kangri は見えない。また、K7 は Sherpi Kangri よりさらに西方、Kaberi Glacier の右岸にあり、著者は勘違いされていると思われる。

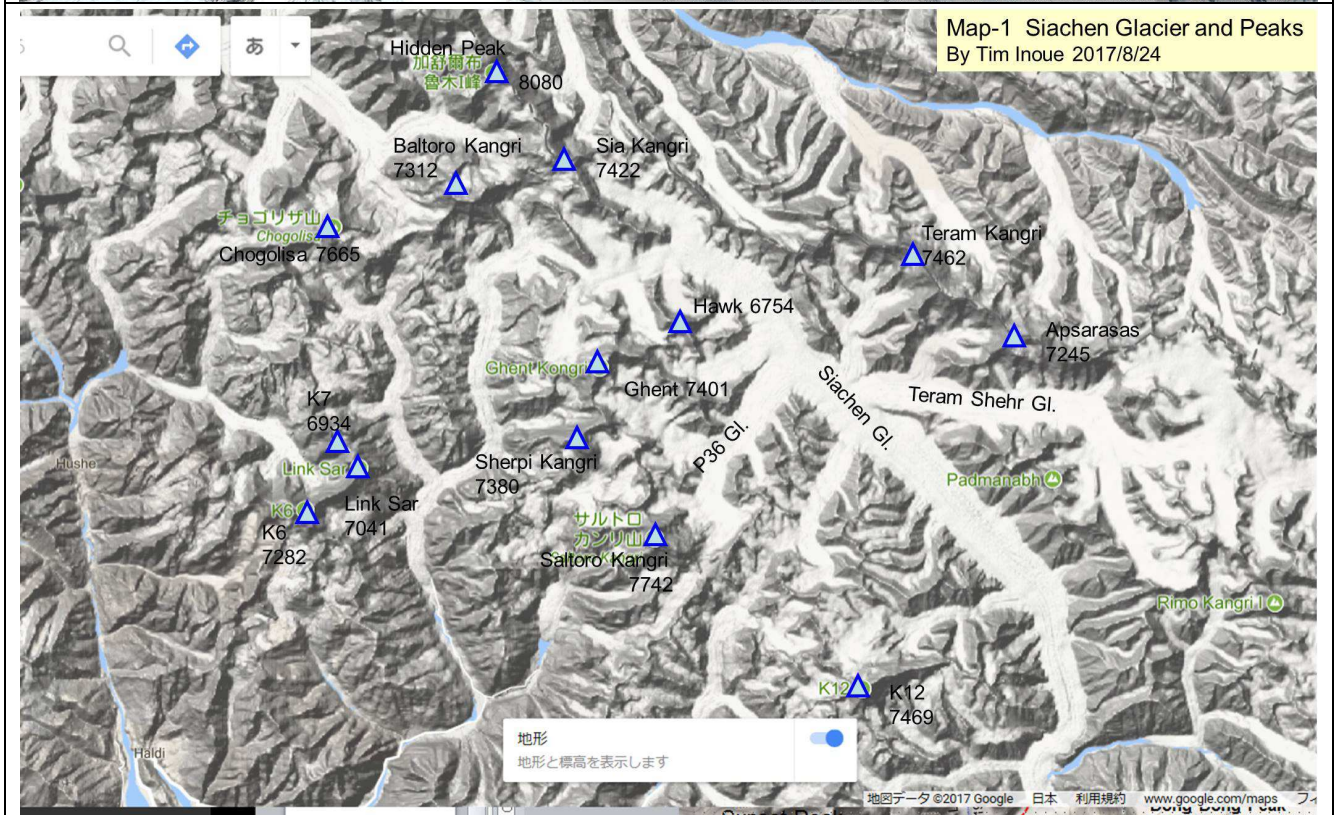
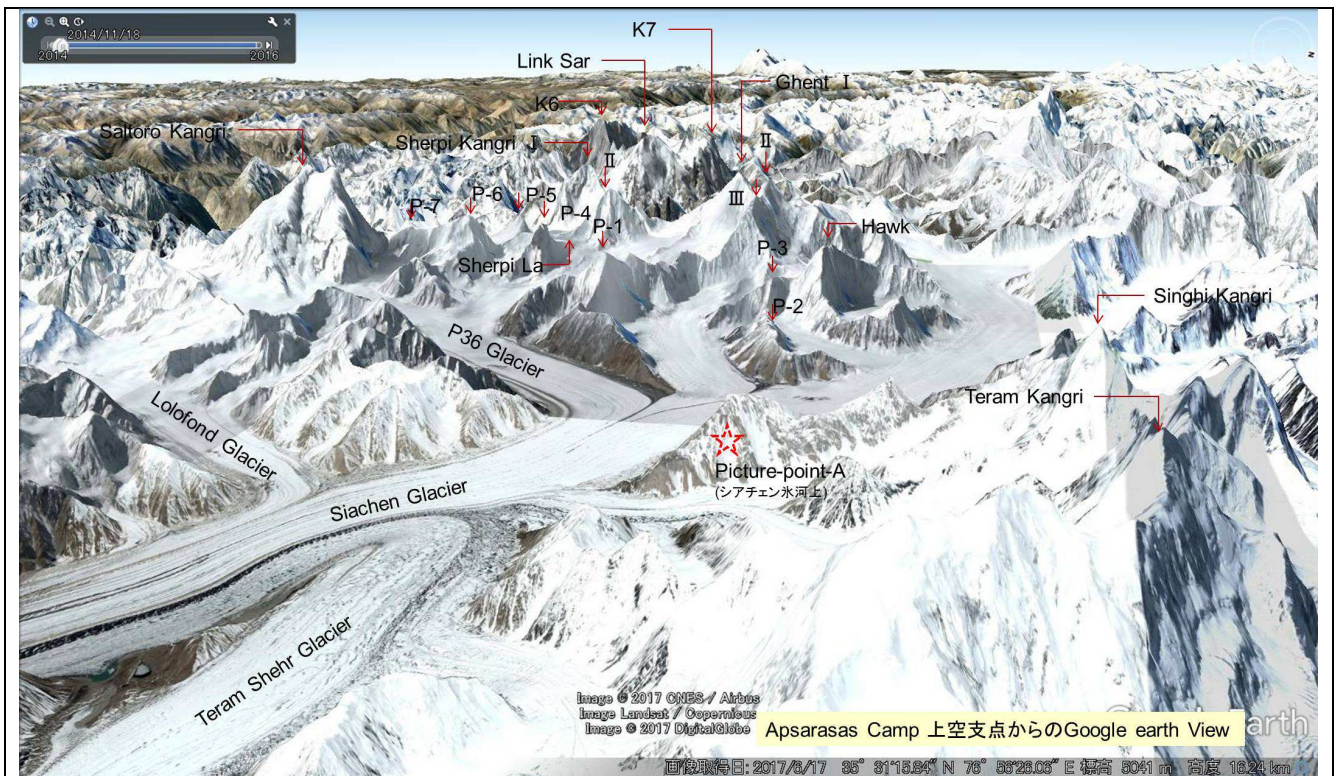
Google Map や Google earth を活用した地図も添付した。ちなみに 1976 年当時の地図や測量、高度計から得た標高と衛星から計測された最新データによる地図の標高には大きな差がある。百年史にその違いも記述した。

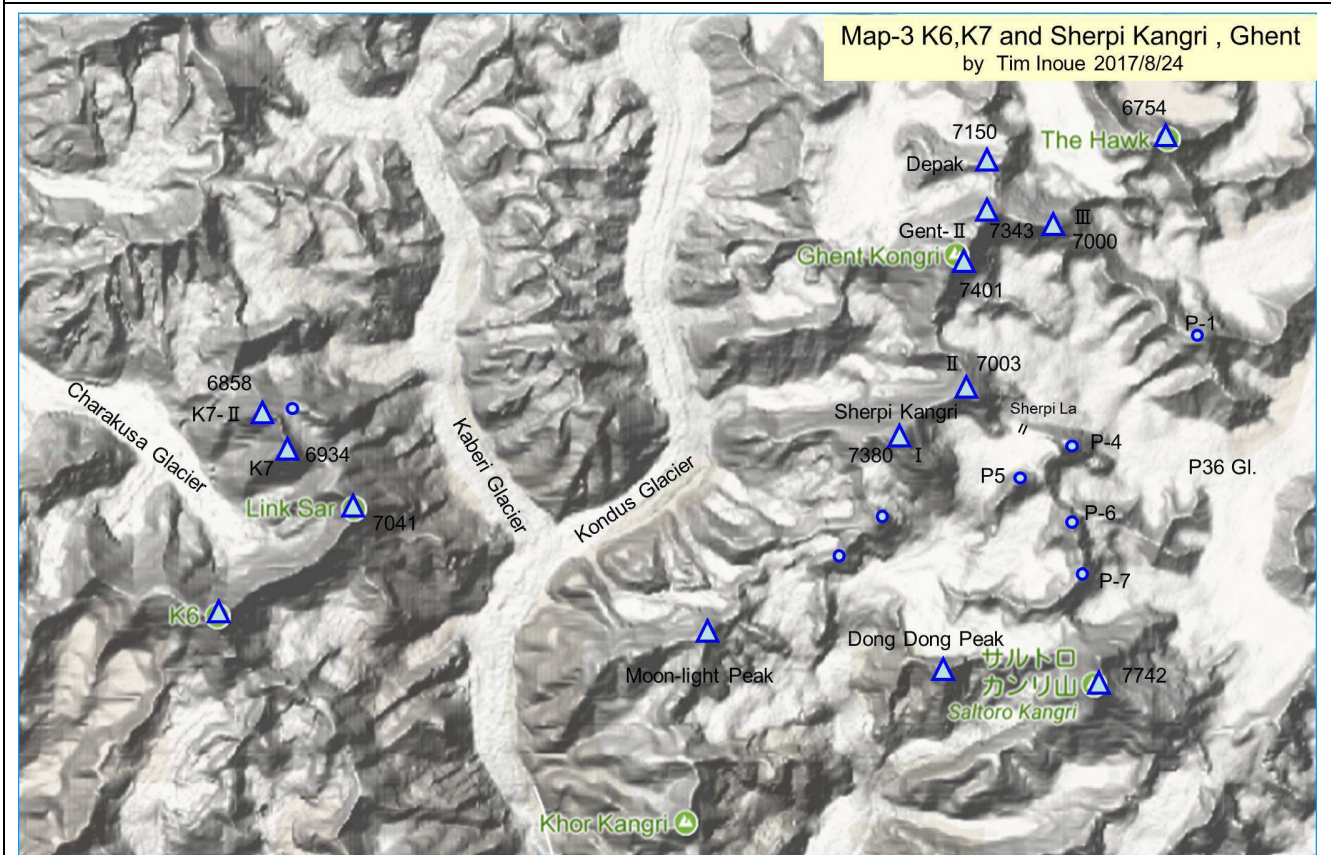
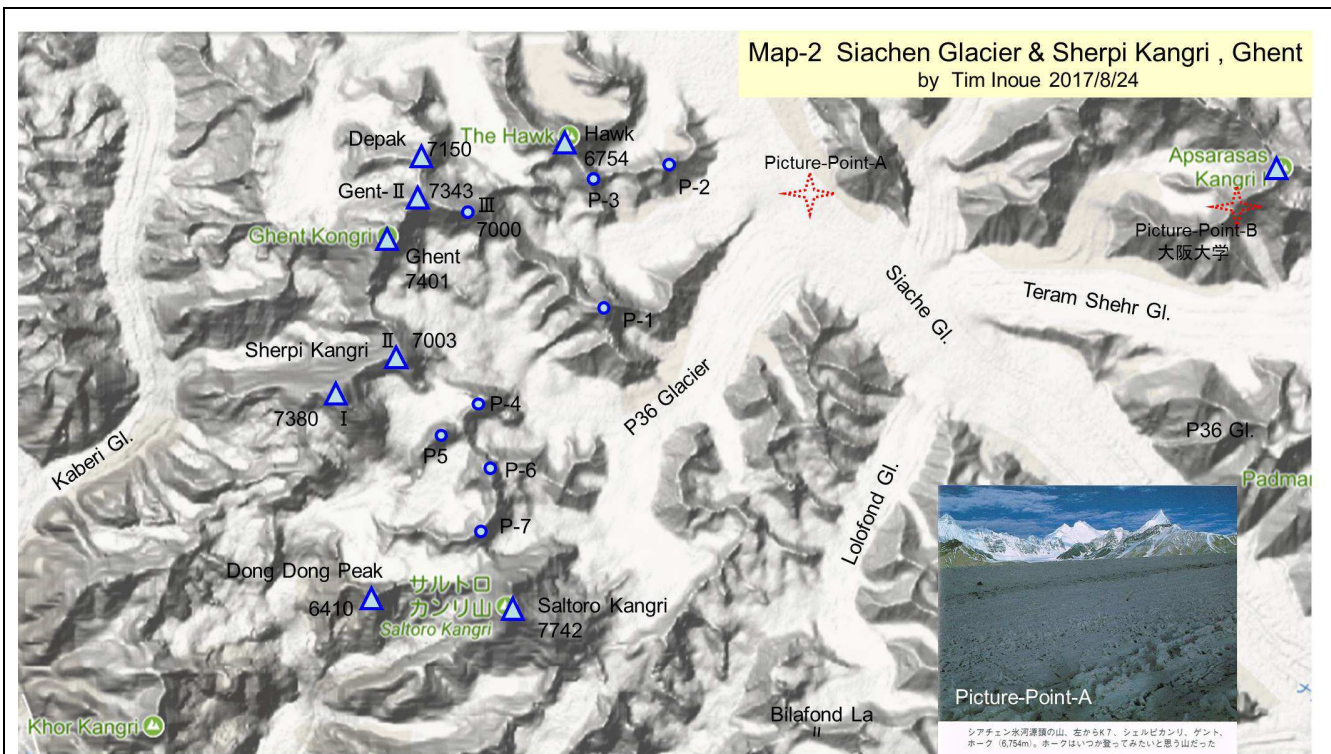
シアチェン方面から撮ったシェルピ、ゲント、ホークなどの写真は 1976 年の大阪大学隊がアプサラサスのキャンプから撮影したものを同隊から頂いている。

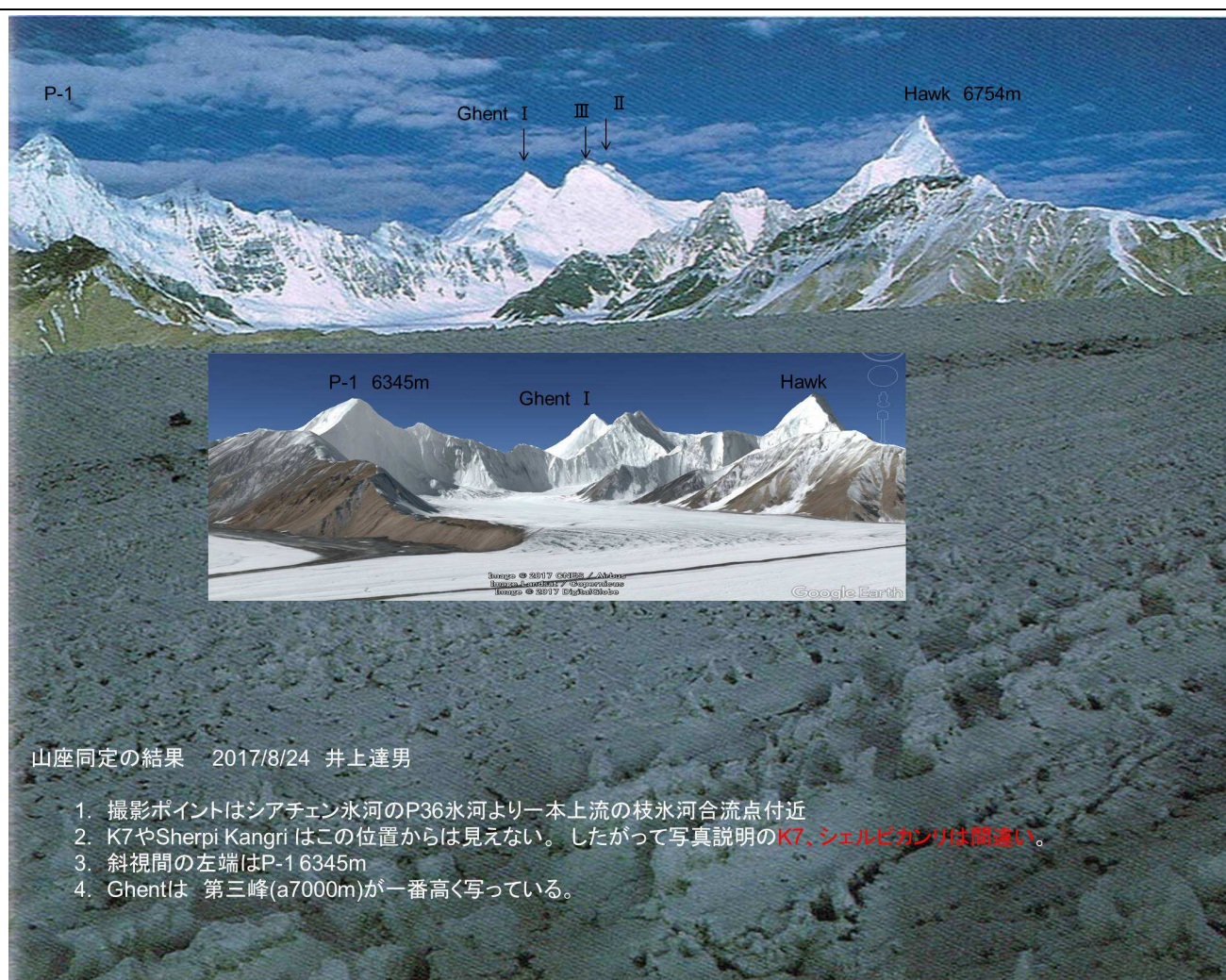


シアチェン氷河源頭の山、左からK7、シェルピカンリ、ゲント、ホーク（6,754m）。ホークはいつか登ってみたいと思う山だった





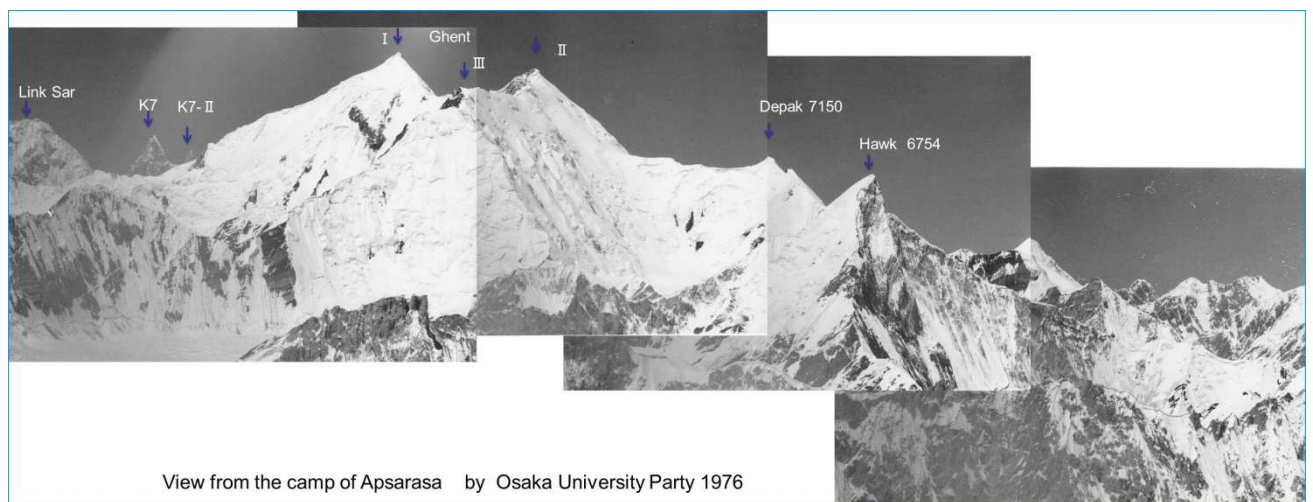
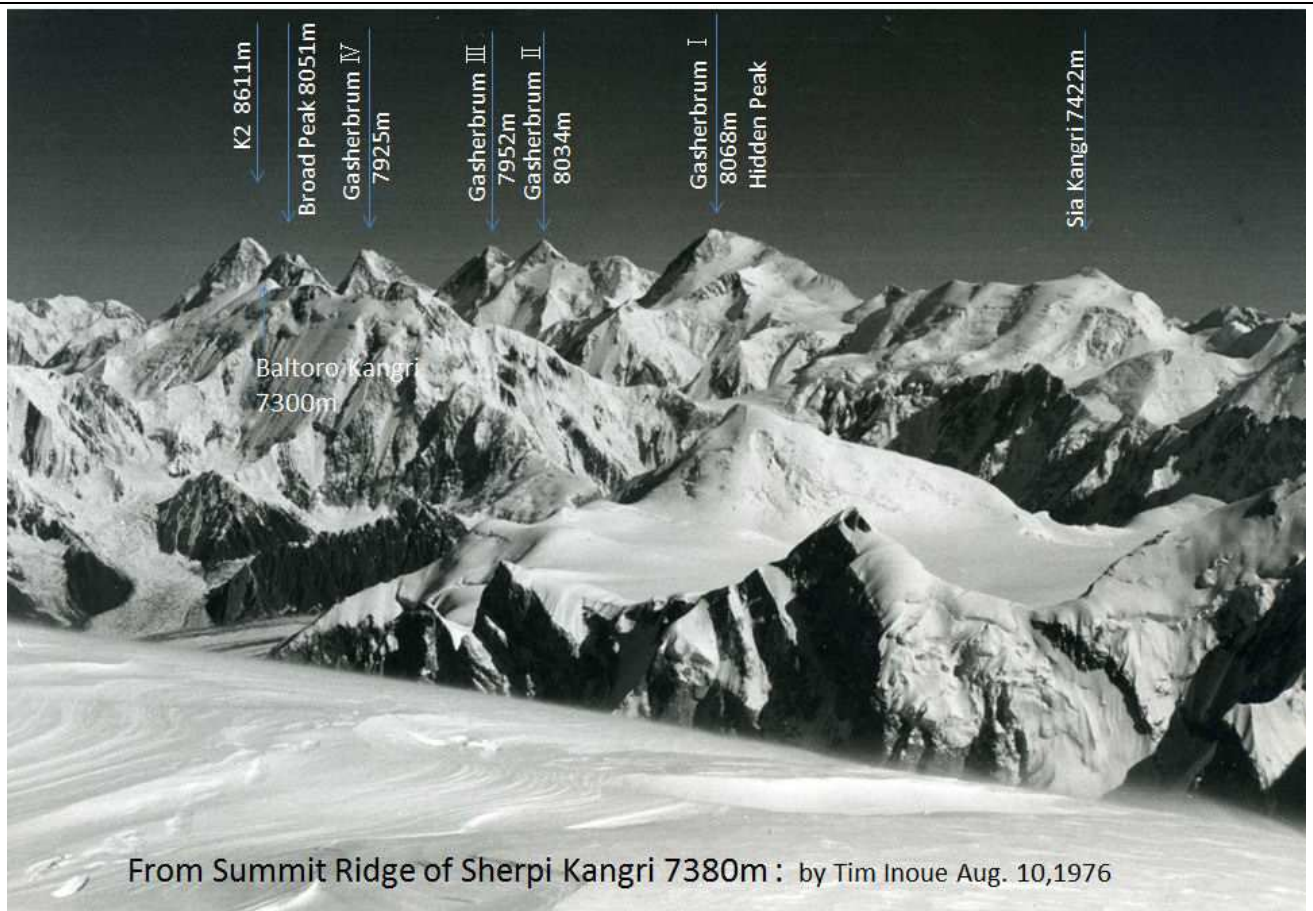




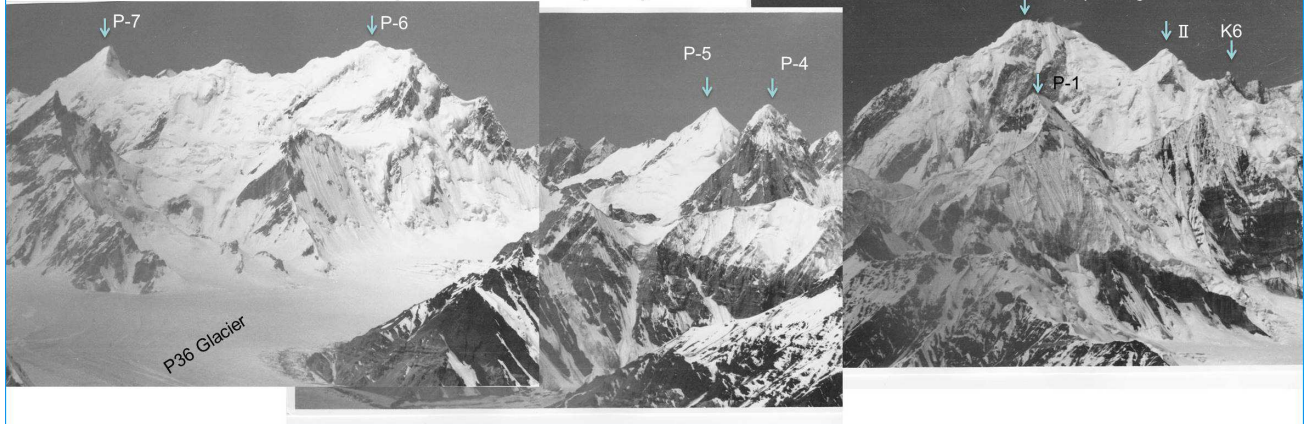
山座同定の結果 2017/8/24 井上達男

1. 撮影ポイントはシアチェン氷河のP36氷河より一本上流の枝氷河合流点付近
2. K7やSherpi Kangri はこの位置からは見えない。したがって写真説明のK7、シェルピカンリは間違い。
3. 斜視間の左端はP-1 6345m
4. Ghentは 第三峰(a7000m)が一番高く写っている。

シアチェン氷河源頭の山、左からK7、シェルピカンリ、гент、
ホーク (6,754m)。ホークはいつか登ってみたいと思う山だった



View from the camp of Apsarasa by Osaka University Party 1976



View from the camp of Apsarasa by Osaka University Party 1976

